

2024年問題に起因する労働時間制限など、多くの課題に直面している。より一層、人材不足が深刻すれば労働力を補うロボット化、AI化が進むであろうし、DX化についても喫緊で迫られてくる。また、脱炭素社会に向けた動きとして植物由来のポリエステル樹脂も新しく開発され、いずれ防水材料としても広がりを見せてくるのではないかと予想される。こうした状況を踏まえながら、メーカーとしても新工法・材料の開発を行っていききたいと考えている。その一方で工業会では新たにネットでの製品の保証書や出荷証明書を発行できるシステムも構築している。今後も工業会と手を携えながら事業を進めていきたい」と語った。また、優秀会員に対するメーカーの表彰が行われ、その後に技術委員会からの報告がなされた。

講演終了後には会場を移して懇親会も行われ、盛会のうちに終了した。

## W. レーナート博士ら 招き講演会も

### 日本断熱住宅技術協会



▲田中辰明理事長

(一社)日本断熱住宅技術協会(田中辰明理事長)は4月12日、東京・港区芝公園の機械振興会館で、第11回総会を開催した。

議案審議では、第10期(2022年度)事業報告、第10期(2022年度)収支決算報告があり、承認された。ま

た第11期(2023年度)事業計画案、第11期(2023年度)収支予算案が諮られ、異議なく承認された。総会には、同協会が提携をしている欧州外断熱協会のラルフ・パスカー(Ralf Pasker)専務理事から祝辞が寄せられた。

同協会は例年、総会の付帯行事として外国から断熱の専門家を招致し、講演会を催してきた。この3年間、コロナ禍により中止していたが、今年は再開され、ドイツのエコ建築家ヴォルフガング・レーナート(Wolfgang Lehnert)博士らを招いた講演会が行われた。

## 新入生24名が入校

### 東京都塗装高等技術専門校



▲式の様子

東京都塗装高等技術専門校(伊原創一校長)は4月7日、東京・渋谷区の塗装会館において、令和5年度の入校式を行った。

当日は、今年度の入校生のうち、1名の欠席者を除く23名が会場に集まり、式に臨んだ。

森敬運営委員長の開式の辞に続き挨拶に立った伊原校長は、「本校は、塗装の基礎を学ぶ学校だ。基礎を身に着ければ応用も利くようになる。基礎があれば困ったときにも乗り越えられると思う。営業や現場管理の方もいるだろうが、学びには無駄はないので、皆さんがそれをどう生かすかだ。また、ここでの時間は、皆